



実力テスト

先週、第1回実力テストが行われました。入試形式の問題を解くことに挑戦。入試と同じく5時間続くテストに「つかれた～」という声もありました。入試に向けて、慣れていきましょう。

さて、結果はどうでしたか。良かった人も、悪かった人も、今回の成績が次からの基準になります。実力を伸ばしていくには、1、2年生の復習を毎日少しずつ取り組んでいく地道さがが必要です。『継続は力なり』です。

そして、実力テストが終わってすぐですが、修学旅行が終われば、期末テスト1週間前です。教科数が多いので、どの教科もまんべんなく勉強して、しっかりとテストに備えましょう。

修学旅行

いよいよ明日からは沖縄への修学旅行です。授業中だけでなく、昼休みや放課後の時間を使って様々な準備をしてきました。その修学旅行には、大切なことが3つあります。

- 1つ目 みんなで泊まる、みんなで食べる、みんなでシュノーケリング体験や、ビーチで遊ぶ、話をしながら班活動をする、そして、みんなで楽しむことです。
- 2つ目 今から77年前、沖縄で行われた唯一の地上戦の被害の凄まじさ、ガマの中での恐怖、人間の愚かさなど、本物の資料をしっかりと見て、二度と戦争を繰り返すことのないように心に留めておくことです。
- 3つ目 安全に行動することです。修学旅行中は、つい「友だちがいるから」、「みんなもやっているから」、「自分だけではないし」という気持ちになり、緊張が緩みがちになってしまいます。その緩みが重大な事故につながることもあります。また、約300名が一度に行動するので、時間を厳守し、素早く整列し、点呼は正確にすることはとても大切です。今日、荷物の用意をした後、もう一度「しおりの行程表」をしっかりと確認しておきましょう。

- ・当日は、必ず検温をしてきましょう。
- ・モノレール大阪空港駅まで安全に十分気をつけて集合しましょう。できるだけ複数で、時間に余裕を持ちましょう。

6月17日（金）の教科連絡

- ・9：30 登校 ※他学年は授業中なので、静かに登校しましょう。
- ・時間割：金1・学・3～5 （※2組は、金1・2・学・4・5） ランチ○
- ・各教科持ち物：学…しおり、家庭科…裁縫道具（@被服室）、技術…タブレット・いつも通り、社会…いつも通り・しおり
その他の教科…いつも通り

修学旅行の緊急連絡先一覧

1日目	
ユインチホテル南城	098-947-0111
南部徳洲会病院	098-998-3221
茨木市立西中学校	072-622-2658
2日目	
オーシャンリゾート PMC（1組）	098-965-6060
にらい恩納（2・3組）	098-967-8437
サンコースト（4、5組）	098-053-0330
キーウエスト（6・7組）	098-904-0411
沖縄県立北部病院	098-052-2719
社会医療法人敬愛会 中頭病院	098-939-1300

総合学習～修学旅行に向けて～

5・6月の総合学習は、修学旅行に向けて、平和学習とSDGs恩納村のサンゴ礁について取り組みました。平和学習では、ガマの中で起こっていたことや、鉄血勤皇隊について学習し、沖縄戦についてだんだんとイメージがもてるようになってきたのではないかと思います。

また、SDGsの学習では、修学旅行のマリン体験で実際に訪れる恩納村のサンゴ礁保護の取り組みについても学習しました。シュノーケリング体験や、ガマ・平和祈念資料館の見学をしますが、何も知識がないまま見ると、くわしく知った上で見るのとでは、心に響く大きさも変わります。あとに載せる感想を読んだり、授業で学んだことを思い出し、ぜひ豊富な知識を身につけ、沖縄の人々の気持ちに寄り添って見学できるようにしてほしいです。



平和学習 感想

- 親が自分の子どもを殺すとかとても残酷だと思いました。本土で戦争の準備をするために沖縄を簡単に犠牲にしようという考えがなぜでてるのかなと疑問に思いました。戦争というものは、存在するべきものではないと思った。
- 自分たちとほぼ同じ歳の人達でも戦ったりしないといけないのは、今では考えられないなと思いました。みんな生きたいのに、自決の道を選んだりして身内を殺すというのは、本当につらいことなんだろうと思った。
- ガマでの集団自決が恐ろしいなと思いました。体験された方の「こんな良い世の中になったのに」という言葉は、すごく考えさせられました。
- ガマの中での集団自決がとても印象深かった。もし、自分がその場にいたら、何としても生きようとしたんじゃないかなと思った。
- 集団自決をした人と、しなかった人はそれぞれの思いがあって、その思いの違いがこういう運命につながったんだなと思った。
- 私たちと同一歳くらいの人たちが爆弾をもって敵の方へ行っただということが一番印象に残りました。今では、本当に想像もできないくらいざんこなことだけど、それが想像できないということは、今は平和に暮らせているということだなと改めて思いました。



SDGs 恩納村のサンゴ礁 感想

- 自分ができることは、12番の「つくる責任つかう責任」のやつで、自分が使っているシャーペンなど物を大切に使って、ゴミを減らすことができる。また、ボランティアにも参加して協力することができる。
- 沖縄の海は今、自分が思っていた海じゃなくなって、でもそれを生み出しているのは私たちの生活のなかにあるので、修学旅行を通じて意識できるようにしたいと思いました。
- 現状では完ぺきに海を守ることは無理だと思うのもっと色々な開発をしていかなければいけないと思った。開発をする大人に任せるのではなく、自分たち子どももしっかりゴミは正しいところに捨てるなどできることからしていきたい。
- 白焼け止めとかにもプラスチックが入っていたりとかけっこう身近にプラスチックがあるんだなと思った。今はプラスチックを使用したものが必要不可欠だけど、使い方とかを見直していきたいなと思った。

